

のびる

令和8年2月25日
真岡市教育委員会

〓 百点取らなくていいんだよ〓

真岡市教育委員会 学校教育課

もおかライブラリー教室 教育相談員 篠田 政雄 氏

はじめに

私が勤務している教室には、学校での人間関係や体調不良等理由は様々ですが、心理的要因により登校ができなくなっている児童生徒が通室しています。その子たちにとときどき言う言葉があります。「百点取らなくていいんだよ。」

1 テスト

もおかライブラリー教室の通室生は、各自のペースで学習に取り組んでいます。個人差はあります

が、興味のある内容は学校の進度に合わせてどんどん進めたり、苦手な内容は前の学年に戻ったりしながら学習しています。ときどき学校から単元テストや定期テストについての連絡が入り、そのことを本人に伝えると、多くは表情を曇らせます。

学校で授業を受けていないから無理とか、悪い点数を取ったらどうしようとか頭をよぎるのでしょう。様々なことが不安材料とな

ることは容易に想像できます。そんなときに「百点取らなくていいんだよ。」と切り出します。



久下田小 6年 児童

2 ちょっとずつ前進

「百点取らなくていいんだよ。」と切り出した後に二つのことを話します。

一つ目は、できないことや間違えることへの不安についてです。全員百点を取っているわけではなく、勉強ができる子でも間違えることがあるということです。間違えることは決してだめなことではないことを伝え、点数について重く考えすぎないように話します。

二つ目は、テスト内容全部ではなく、勉強したところができるか挑戦しようということです。勉強していないところができないのは

当たり前です。百点満点のうち勉強した範囲は30点分なら、30点を満点としてテストを受けようと話します。テストを受けることになったら、その範囲の中から自分で挑戦してみたいところを決め、教科書などで一緒に学習し、ドリルやワークで問題に取り組みます。そして、テストを受験。

ここで大切にしたいのは、自ら学習に向かったことや学び得たことを振り返り、間違いなく一歩前進したということを確認することです。また、分かっているても適切な解答が書けず正解にたどり着けないことがあります。解答の仕方には技術的な部分もあるため、その書き方を説明するとともに、内容が理解できていることを褒めます。

テストを受けようと決めて取り組んだということは、自分と向き合う勇気を出すことができたことに他ならず、大きな一歩といえます。

3 「知ってるよ。」

「知ってるよ。」と子どもたちはよく口にします。でも、知っているからといってできるとは限らないことは、皆さんよくご存じのとおりです。自転車乗りもそうですし、料理で「レシピどおりに作ったはずが…」という経験がある方もいらっしゃると思います。「できる」はある意味「知っている（知識）」と別物です。もっている知識を生かす能力が「知恵」です。

中3の生徒と理科の学習で、細胞分裂や成長点について一緒に調べました。タマネギの根は先端に成長点があり、その部分が伸びるということが書かれています。このとき、「赤ちゃんの指先に成長点があったらどうなってしまう？」と問いかけると、指だけ長くなる様子を想像して、「気持ち悪い。」と返ってきます。また、草刈りの場面を想定して、草の上の方だけを刈るとすぐに伸びてしまうことを話し、草の根本にある成長点（草

の種類によりますが）を刈ることで成長を大きく遅らせることができることを話します。

学習内容から逸れてしまっていますが、生活など身近なものごとに関連付けることでその知識に関係することが加わり、それを実践したときに実感を伴う理解となつて「知識」から「知恵」に進化していくのだと思います。



大内東小 1年 児童

4 大人になったときのために

十数年後には小学生も大人になります。様々な課題や困難にぶつかることが必ずあります。そのとき、小さい頃から学んできたことを知恵としてもっていることが解決のカギになります。百点を取ることはもちろんすばらしいことですが、その知識を役立てる力（知

恵）が重要です。学び得たことが生活の中に生かされていることを知り、多くの体験から知恵を増やしていくことが生き抜く武器となります。様々なことに興味を示す小学生の時期に、ぜひ親子で多くの体験をし、お子様の知恵と自信を育んでほしいと思います。

おわりに

全国学力学習状況調査や入学試験、各種のテストで、実社会の様々な場面を想定し、知識や技能を活用して解決するような設問が増えています。つまり、様々な課題や困難を乗り越える力の育成が求められているのです。学びのスピードは人それぞれ、興味・関心についても同様です。お子様が自分のペースで学びを深め、力をつけていけるといいですね。

あらためて、「百点取らなくていいんだよ。」



大内西小 6年 児童

こちらの家庭教育通信をお読みいただいた感想をお聞かせください！



真岡市では家庭教育について情報を発信しています！ご覧いただき、ぜひご活用ください。



ログイン不要
で送信できる
ぴょん！

感想を
お待ちしております♪

